

南の風 542

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

541号の「ペイントエリアを優先してアタックする」の続きです。ペイントアタックの原則はいくつかありますが、ここでは2つ紹介しておきます。

❖カウンターアタック

ディフェンスの遅れに目をつけて、相手のカウンター（逆）を突いて攻めます。詳しく書きます。

アライメントは、OFF（ボールマン）がリングに向かって左のミドルの位置よりやや左に1人、右コーナーに1人します。2対2で説明します。ボールマンがA、コーナーがBとします。それぞれDEFがついています。

Aが右ドライブでペイントアタックします。AのDEFが抜かれそうになった時、BのDEFがヘルプに行きます。それを見たBがドラッグの動きで右ウイングに上がります。AはBのDEFのヘルプを見て、右ウイングに上がってきたBにキックアウトします。Bはノーマークなら3Pを打っても良いですし、右ドライブでペイントアタックしてもいいです。

パスを受ける瞬間、BのDEFがクローズアウトしてくれば、カウンターアタックになります。このカウンターアタックで大切なことは、ボールを受けたBは必ずリングを見て、シュートを狙うことです。シュートチェックのために、ヘルプに行ったBのDEFがクローズアウトからシュートの軌道に手を伸ばして来れば、シュートキャンセルしてドライブに切り替えます。いかにDEFの逆を突くかが重要になります。

U12では現在3Pシュートが採用されていません。相手チームが外は打たれていいとクローズアウトに来ないことも多くあります。しかしこのカウンターアタックは将来に向けて大事なオフェンススキルとなりますから、ミニバス世代から駆け引きを身に付けるうえでも、取り組んでほしいプレーです。

❖スポットアタック

ディフェンスのギャップ（隙）に目をつけて、スペース（スポット）を意識して攻めます。スポットの空間認識ができることで、より効果的なシュートを打つことができます。

アライメントは、ボールマンCがリングに向かって左のミドルの位置よりやや左です。もう一人は同じサイドのコーナーD（左側）です。

Cが左ドライブで攻めます。このドライブに対して、コーナーDのDEFがヘルプに出ます。この瞬間、DがDEFの背後からバックカットして、ゴール下のシュートを打てるスポットに飛び込みます。（これをスポットカットと呼びます）こうすると、Dはほぼノーマークになります。

このように、ディフェンスがマッチアップできないスポットを見つけて攻めることは、「チャンスを攻める」うえで大きな鍵になります。このDのスポットアタックに対して、逆サイドのDEFがクローズアウトして来れば、他の味方のドライブへのディッシュパスや外へのキックアウトで攻めることになります。

次号に続けます